

システムでスケジュールを管理することで、 業務効率化・納期短縮を実現！



株式会社タケダ

📍 新潟県燕市灰方332番地

☎ 0256-63-8646

🌐 <http://www.kk-takeda.co.jp/>

■ 金属製品製造業

TAKEDA



会社WEBサイト

私たちについて

切削から、多様な加工まで。 協力工場と共に築いた信頼

1963年、ミシン部品の製造業で創業。以来、最新の機械設備と検査機器の導入、長年培ったノウハウによる、高精度・高品質の切削加工を強みとしてきた。こうして顧客から信頼されるようになると、切削以外のレーザーやプレス加工、鍛造などの相談を受けるように。そこで、一度タケダが請け負い、燕三条の協力工場に専門的な加工を依頼するようになった。また、2008年にはデザイナーと協力しながら自社製品を開発する「TAKEDA DESIGN PROJECT」を開始。タケダや協力工場の技術力が充分に発揮された書類トレーやテープカッター、ルーペなどを開発した。



きっかけ

スケジュール管理は紙ベース。 生産管理と紐づけられる

近年、メーカー側から「納期と品質を維持した上で生産量を上げてほしい」といった声が多く出るようになった。そこで、タケダは2010年に生産管理システムをISOの規格に則って管理できる「ISO夢工場」を導入。品質を維持した上で受発注や伝票、加工指示書などの出し入れが簡単にできるようになり、業務効率は向上した。しかし、



「ISO夢工場」はスケジュール管理まではできない。そのため、スタッフが紙ベースでスケジュールを作成していた。急ぎの仕事が入ると、すべて組み直さなければならず、受注量や取引先の数が増えると現場の負担が大きくなっていた。



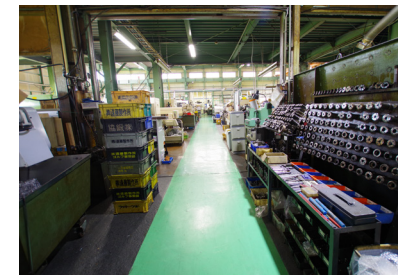
取組の内容

無駄を削減し、 効率重視のスケジューラを導入

現場の負担を減らすため、ものづくり補助金を活用し、独自仕様の生産スケジューラを導入。生産設備や作業者、外注先に最適化された工程計画を立案、工場内にある各部署のコンピュータ端末でリアルタイ

ムに情報を閲覧できるようになった。また、手書きからシステム作業へ移せたことで、スケジュールを組む人の手間がなくなり、その分作業に時間を費やせるように。さらに、バーコードを登録すれば自動で実績が表示されるようにしたり、統計をグラフで示し、不適切な工程計画を改善できるようにもなった。

しかし、PC作業に慣れていないスタッフは打ち込みすらままならず、入力だけでかなりの時間を要していた。そこで、他のスタッフが教えながら入力を徹底。少しずつではあるが、入力時間が短縮し、業務効率化に向けての土台が整ってきた。



その後の展開

幅広い業種と仕事をすることで 景気の波に左右されない会社になる

生産スケジューラを導入したことで作業効率は向上できる体制は整ったが、スタッフが忙しいと納期短縮はできない。そこで、手が空いたスタッフに課を横断して別工程で作業してもらうようにした。そのおかげで、作業時間を短縮し、効率的な作業が可能に。当初の目的だった「無駄を排除した計画づくり」で高い生産性と納期短縮が可能となった。効率化が進んだものの、今度は機械を入れるスペースが足りなくなってきた。そのため、機械をたくさん入れられる新工場建設を考えている。

金属加工をメインとするタケダは、幅広い業界の顧客がいる。もともとは製造業関係が多かったものの、TAKEDA DESIGN PROJECTで文具など他業界との付き合いも生まれたことで、より幅広い業界と繋がった。多様な業界に顧客がいると、業界に縛られずリスクを分散させることができる。

message

製造業は、3K(きつい、汚い、危険)の職場と言われています。このイメージを払拭させるために、現在構想中の新工場はきれいで快適な空間にしたいと考えています。

製造部 部長 佐藤 正彦氏

